

蒸着技術

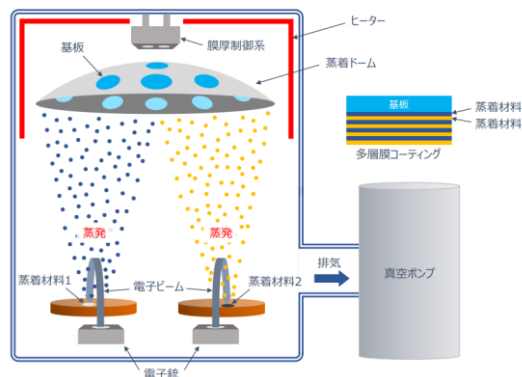
蒸着について

高真空中で蒸着材料を加熱し、蒸発した材料が基板に付着することによって薄膜が形成される技術です。光学製品の他、加飾製品にも使われています。

スパッタと比べ、

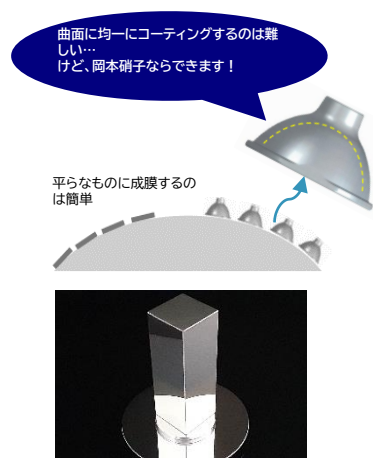
1. 成膜材料を容易に変えられることから材料の選択肢が多く、膜設計の自由度が高い
2. 膜厚のコントロールがしやすく製品形状への対応力が高い
3. 成膜速度が速く、成膜材料費も安く済むことから特に小ロットの生産でコストを抑えられる

といったメリットがあります。一方、大面積の平面形状への均一な成膜にはあまり向いていません。



岡本硝子のコーティングの特長

- 自社設計の遊星回転治具により、お椀型、曲面、深型、筒型形状への均一な成膜が得意です。(平板もちろん対応いたします)
- φ650～1550mmの様々なサイズの成膜装置(グループ全体で41台)を保有。小Lot(1個)から、大Lot(数十万個)まで幅広いボリュームニーズに対応します。
- プラズマ・イオンアシストにより、経時変化に強く高温の使用環境にも耐えます。
- 薄膜だけでなく、ご要望に応じた適切なガラス基材もご提案いたします。



四角柱、円柱形状でも1回で成膜ができます！

製品情報

- 製品種類: ARコート、ダイクロイックフィルター・ミラー、バンドパスフィルター、金属ミラー、色温度変換フィルター、ハーフミラー、NDフィルタ、透明導電膜、加飾蒸着など
- 成膜波長域: 200nm～10μm
- 成膜対象基材: ガラス、金属(アルミ/銅/SUS等)、樹脂(PC/PET/塗装品)など
基板調達から対応いたします。お客様の支給基材への成膜も可能です



充実の分析・評価設備

- 分光光度計、SEM、XRD、エリプソメーター、その他ガラス用分析装置も多数所有
- 高温、低温、高温高湿、サイクル、塩水噴霧、鉛筆硬度、摩耗、水接触角、付着強度 など各種試験対応

☀️ **ここもポイント!** 当社所有の分析・評価試験設備で、他社で上手くいかない案件や試作での不具合を徹底的に解析し、改善策をご提案致します！

2020年4月より、二光光学株式会社が岡本硝子の一員になりました！

小回りの良さを活かし、“光学部品の駆け込み寺”として、他社で断られた、納期が間に合わないなどの案件にチャレンジしています！

